

.....

■トピックス

■財源確保、悩む自治体 (H30. 4. 13 佐賀新聞抜粋)

600万人いる団塊の世代が、みんな後期高齢者になる2025年度移行、医療や介護の財源をどうするか。多くの自治体は、費用抑制のため介護予防や健康増進に取り組む考えを示したが、財政効果は未知数だ。「高齢者の負担増はやむを得ない」との声の一方、「患者の窓口負担を引き上げたら、医療を受けられない人が出てくる」との指摘もあった。

後期高齢者医療制度では、運営主体である都道府県広域連合の大半が今後の財源確保策として「医療給費の抑制」を挙げた。具体的な方法としては「健診など保健事業の充実」との回答が目立ったが、実は健診や介護予防で社会保障費が減らせるかは専門家の間でも意見が分かれ、効果ははっきりしていない。

金銭的な負担増を求めることには反発が予想され、なるべく「痛み」の少ない方法を探りたいとの意向が透けて見える。

介護保険も後期医療も、給費費の約5割は公費(税金)で賄っている。公費の割合を増やすよう求める意見も少なくなく、ある広域連合は高齢者医療に対する現役世代の拠出金負担が重くなっていることを念頭に「税金をもっと投入しないと、現役と高齢者の共存が難しくなる」と訴えた。

ただ、それには消費税を10%に引き上げた後、さらなる増税が必要になるとみられ、ハードルは高い。3年ごとの改定のたびに介護保険料の負担増に直面する千葉市の担当者は「介護保険は制度の抜本的な見直しが必要だ」と指摘した。

■ケアプラン自己負担・軽度者は給付外に・財政審 (H30. 4. 13 シルバー新報抜粋)

財務省は11日、財政制度等審議会に、18項目の社会保障改革案を示した。介護分野では、ケアマネジメントに利用者負担を設定すること、要介護2までの軽度者について、保険給付から外し地域支援事業への移行を求めた。

制度を今後も持続していくためには、保険給付の範囲を見直す必要があると指摘。高度・高額な医療技術や医薬品など大きなリスクは保険で引き続き使えるようにし、小さなリスクは自助にすべきとの考えだ。さらに、保険者機能を強化するために調整交付金をインセンティブとして活用すること、ケアプランチェックの標準化、自治体による供給量のコントロール、事業者の経営統合・再編の促進などを盛り込んだ。

■事務局から

■通所介護の戦略

これからは他の事業もみながら戦略をタイムリーする必要があります。厚生労働省は機能分化を進めていますが、通所リハや訪問リハなど「社会参加支援加算」が前回の報酬改定から創設されています。これらはリハビリを受け、「卒業」することを評価するもので、これからの通所介護は卒業後の受け皿として機能を果たせるかがとても大切です。卒業先には、介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体の一般介護予防事業や通所型サービス B など想定されますが、これらの充実にはまだ

時間がかかることをふまえ、通所介護は今後の先行きを見越した戦略が必要です。地域密着型通所介護にあたっては時間が1時間単位になったものの、現状を維持できた事業所も多いのではないのでしょうか。8～9時間ではプラスにもなります。国の方向性、他の事業との関連性を踏まえ、3年後を見据えた戦略を考えていきましょう。

【佐賀県地域共生ステーション連絡会関連】

■6月10日(日) 10:00～11:00 ほほえみ館視聴覚室

佐賀県地域共生ステーション連絡会総会

■6月10日(日)11:10～12:30 ほほえみ館視聴覚室

総会記念講演(第1回資質アップ研修)

演題 「地域共生社会を見据えた介護保険制度の動向と事業者の役割」

講師：厚生労働省老健局総務課 課長補佐 石井義恭 氏

【経歴】大分県臼杵市出身。障害分野の相談援助、高齢者分野のケアマネジメントに携わり、地域包括支援センターでの業務を得て、平成28年4月より現職。保育士、介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士等。

■世話人会の開催日について 次回6月20日(水)13:30～

世話人の皆様は万章繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願いいたします。

■協議体(話し合いの場)づくりがはじまっています！！

30年度から「生活支援体制整備事業」が加速していきます。これは「介護予防・日常生活支援総合事業」を後押しする制度と断言していいです。整備事業の核になるのは住民主体となった「協議体」(話し合いの場)。すでに社会福祉協議会や地域包括支援センター、NPOなどに「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」が配置されているか、配置予定の地域がほとんどだと思います。これらの新しい機能は、地域に生活支援(軽度者支援)を作り出す基盤となります。これからは事業者も地域や地域住民と協働することが、自事業所の将来を左右していきますので、これらに積極的に参画していきましょう。協議体づくりは各市町さまざまな名称で取り組まれています。例えば「〇〇作ろう会」「〇〇話そう会」「〇〇の福祉を考える会」等など。事業所のある市町に一度お尋ねください。

【第2層協議体が設置されたところ】

◆「里のかけはしホット」嬉野市吉田 30年1月

◆「住みよい長寿社会づくり部会（まち協）」佐賀市川上校区 30年4月

■「介護予防・日常生活支援総合事業」勉強会(予定)

軽度者の対応は、全国一律の介護保険による給付サービスから、市町の事業にシフトする方向で審議されています。今後の制度変化に備え、軽度者を支援する「介護予防・日常生活支援総合事業」の勉強会開催を検討しています。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

(内容) ◆一般介護予防事業（通いの場）

◆通所型サービス B（通いの場）

◆訪問型サービス B（生活支援）

◆訪問型サービス D（移動支援） など

【事業報告】

4月の事業報告はありません。

【地域情報】

■ブロックの動き

中部ブロック（佐賀市・小城市・多久市・神崎市・江北町・大町町）

◆今年度から神崎市が中部ブロックに入ります。

◆中部ブロック会議が開催されます。

5月17日（木） 14：00～17：00

場所：(株)輝き デイビス芙蓉の花（佐賀市蓮池町大字蓮池 350-1）

内容：情報交換・中部ブロック 30年度事業計画・施設見学

西部ブロック（武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町）

◆西部ブロック地域共生ステーション研修会

5月16日（水） 18:00～定例会（担当 なごみ・こだま）

19:00～研修会（担当さくらさくら・しきなみ） 場所：楠風館

「感染症・食中毒予防」について

北部ブロック（唐津市・伊万里市・有田町）

◆佐賀県地域共生ステーションを推進する「世話人」の増員を、井上ブロック代表と検討しています。世話人は持ち回り交代などもできますので、

東部ブロック（鳥栖市・みやき町・吉野ヶ里町・上峰町・基山町）

◆今年度から神崎市が中部ブロックに移動しました。

※各地域共生ステーションの実践や、地域の情報をMMで配信しますので、メールでの情報提供にご協力ください。（fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで）

■地域共生ステーション推進事業要綱について

平成29年4月からの「佐賀県地域共生ステーション推進事業」の要綱が佐賀県のホームページに掲載されています。

ポイントは地域共生社会実現に向け、ぬくもいホームの推進及び転換といったもの。ぬくもいホーム本体事業のサテライトとして地域住民交流の拠点づくりへの開設補助が設けられたことも新しい試みとなっています。

30年以降に新設される「共生型サービス」や、今後進んでいく「住民主体の総合事業」といったものは、宅老所やぬくもいホームで長らく温めてきたものといえると思いますが、ようやく制度が後追いで追いついてきた表れでもあります。

具体的な共生の取り組みが今後求められるものとして、積極的な活用をご検討ください。

★会員の皆様には、これにあわせ、地域の「居場所づくり」にチャレンジしていきましょう。

総合事業でいえば、一般介護予防事業「地域介護予防活動支援事業」ということになります。まだ県内で位置づけられていませんが、実績づくりという視点ではじめていきましょう。

.....

【さが福祉移動サービス・ネットワーク関連】

■30年度佐賀県が行う「輸送状況等のヒアリングの実施」に関する勉強会を実施しました！！

(内容) ①福祉有償運送のルールについて

②平成30年3月30日通達

「道路運送法における許可又は登録を要しない運送の態様について」

③介護予防・日常生活支援総合事業における「訪問型サービスD」について

■次回の移動サービス認定運転者講習(8月11、12日決定！！)

受講者を募集いたします。お申込みはお早目をお願いいたします。

◆場所：認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家会議室

(佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F)

◆電話：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービスをはじめませんか！！

移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）をさが福祉移動サービスネットワーク主催で開催しています。福祉有償運送実施団体の方はもとより、デイサービスの安全運転

のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく上でも受講をお勧めしています。

「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

総合事業においても移動支援である「訪問D」をどう位置付けるか今後大きなテーマになります。移動サービスの理解を深めていきましょう。

申込書ダウンロード <http://www.fukushinoie.jp/>

■4/28(土) 29(日)

移動サービス認定運転者講習会(福祉有償運送講習会)開催しました！

16人が新たに受講され、これまでに888人が修了しました。

■7月21日(土)移動サービス九州交流会・鹿児島 開催予定

全国移動ネットの呼びかけで毎年九州地区の移動サービス団体が集まり交流会を開催しています。チラシができましたらご連絡致します。佐賀からも参加したいと思しますので、参加ご希望の団体がありましたらご連絡ください。

■7/18・19(佐賀市・ほほえみ館)、9/26・27(鳥栖市民体育センター)、11/28・29(唐津市・高齢者ふれあい館「りふれ」)

シルバー人材センター受託 移動サービス認定運転者講習会決定!!

昨年に引き続き、今年度も回を予定しています。

■佐賀県の福祉有償運送団体

平成29年8月1日時点で、32団体となっています。県によっては実施する団体が増えているところもあります。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足しています。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036ena15.pdf

(佐賀県HPより)

.....

【書籍販売】

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル6「移動・外出支援」

特定非営利活動法人全国移動サービス・ネットワーク 編 1,200円

.....
～地域福祉推進拠点のネットワーク～

佐賀県地域共生ステーション連絡会

～移動自由な地域社会を目指して～

さが福祉移動サービス・ネットワーク

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニービル3F）

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukusinoie@world.ocn.ne.jp

佐地共連ホームページ <http://sachikyoren.com>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。